

もうすぐ区長選挙 #子育て政策聞いてみた 候補者政策アンケート

候補者名： 山崎孝明

1 待機児童について

1-1 待機児童を解消するためには現状の子育て政策で十分ですか。

はい。十分である。

1-2 理由。

これまで「江東区長期計画」において各年度約 1,000 人の保育定員増を目標に保育所整備を進め、実績として平成 27 年度から 31 年度までの 5 か年で 5,000 人を超える定員増となる見込みである。その効果もあり、平成 30 年 4 月現在の待機児童数は、前年度 322 人から 76 人にまで減少した。平成 31 年度末までに待機児童解消を目指していく。

ただし今後、幼児教育・保育無償化の実施等に伴い、これまで以上に保育需要が高まることが想定され、今後注視していく必要がある。

2 保育士の処遇改善および業務の負担軽減について

2-1 保育の質と保育士の確保のために、保育士の処遇(給与や手当など)を改善することについて、考えをお聞かせください。また給与の引き上げを取り組みとして検討される場合は、どの水準まで引き上げるのが適切だとお考えですか。その場合は財源確保についてもお聞かせください。

他職種に比べて保育士の給与等が低いという統計資料では、対象職員の平均年齢そのものが 10 歳近く低いことによる部分も大きいと考える。しかしながら、未来を担う子ども達を育む仕事の重要性からも、保育士が長く勤務したいと思える、再び保育現場に再就職しようと思える水準まで処遇改善に取り組むことは必要。財源については国が責任を持ってこれからも取り組んでいただきたい。

2-2 使用済みのオムツ持ち帰り問題では、衛生面での問題に加え、保育士がオムツの仕分けをする負担があると言われています。使用済みオムツ持ち帰り問題について、考えに近いものはどれですか。

園で処理した方が良い。

2-3 2-2の回答について具体的な考えをお聞かせください。

○お迎え時の保護者の負担減、○衛生面での不安解消、○オムツ取替え後の個人ごとの仕分けが無くなり保育士の負担軽減、などの理由。今年度より区立園全園でも実施している。

2-4 保育士の労働環境改善について、その他区として取り組みたいことがありましたらお聞かせください。

既に安定した継続雇用のため各法人で労働環境改善に取り組んでいる。区が一番の問題である保育士不足に対する支援として処遇改善をはじめ、「就職フェア開催」や「潜在保育士確保策の取り組み」、「法人採用担当者向けセミナーの実施」など各種取り組みを行っていく。

3 幼児教育無償化について

3-1 4月3日衆議院で可決された子ども・子育て支援法改正案の中に幼児教育・保育の無償化(約8000億円)が盛り込まれました。この幼児教育・保育の無償化についてあなたの考えに近いものはどれですか。

無償化すべき。

3-2 3-1の回答について具体的に考えをお聞かせください。

少子化が進む中、消費税率引き上げに伴う財源を用いた子育て家庭への支援・無償化実施は賛成である。実施の中では認可外保育施設の安全面確保など課題はあるが、本区としても10月の実施に向け万全の体制で開始できるように取り組んで行く。

4 放課後事業について

4-1 「放課後児童クラブ(学童保育)」の需要拡大に向けた施策について伺います。今後の方針についてあなたの考えに近いものはどれですか。

放課後児童クラブ(学童クラブ)の充実を進める。

4-2 4-1の回答について具体的に考えをお聞かせください。

江東区では、平成31年3月に放課後子どもプランを改定し、放課後児童クラブにおける保留児童対策、放課後児童クラブ利用方法の弾力化や開所時間の見直しなどを方針に定め事業の質的向上、効果的・効率的な仕組みづくりに取り組んでいく。

5 その他子育て政策について

1~4の質問以外で、推進されている子育てに関する政策がありましたらお聞かせください。

- 区内保育施設(認可外含む)に対して、保育施設の適正な運営及び保育の質の維持と向上を図るための検査を毎年実施。
- 病気等で保育所での集団保育が難しい際の病児保育室の更なる拡充。
- 在宅子育て世帯への支援として、区内の保育所を「かかりつけ保育園」として登録するマイ保育園登録制度の実施。
- 地域の子育て拠点となる子ども家庭支援センターを更に3か所整備し、区内8施設に拡充。
- 区立幼稚園で「3歳児保育」及び「預かり保育」実施に向けた取り組み。